

(様式1)

自己評価票

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	積極的に散歩・買い物又、自治会行事への参加の機会をつくっています。		自治会の主催する行事に参加していきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定期的なフロア会議の場において理念の共有に取り組んでいます。		職員個々との面談をふやし理念の共有と実践について話しあう必要がある。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居契約時に家族へ説明をおこなっています。		地域の方が訪問し易い雰囲気作りに努力したい。
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶を交わしたり、玄関にお花や絵画を飾るなどして雰囲気作りに努めている。		施設で行うレクリエーション行事への参加の呼びかけを行いたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会が行なっている月1回の『ふれあい喫茶』へ出来る限り参加している。		『ふれあい喫茶』だけでは無く、その他の行事へも参加を試みたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今後の課題としており、未だ実施していない。		同地域の事業所との連携を密にし話し合う等の場を設けたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	この自己評価表を活用し改善策を講じている。		最低年1回の自己評価を実施している。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回は地域運営推進会議を行なっています。		家族様も含めより幅広い方々に参加していただけるよう努力したい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が発行する資料や研修・セミナーの案内を各職員に配布している。		研修・セミナーへの参加頻度を増やしたい。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	関係する文献・資料を随時各職員に配布し活用出来る様にしている。		権利擁護に関するセミナー等への職員の積極的な参加を行なつて行きたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	関係する文献・資料を随時各職員に配布し活用出来る様にしている。		虐待防止に関するセミナー等への職員の積極的な参加を行なつて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に於いて契約書を基に十分な説明を行なっている。</p>	<p>年1回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め説明をし理解と納得を得る様に努力している。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。</p>	<p>年1回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め運営に反映している。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、定期的に近況報告書として個々の家族宛てに利用者様の暮らしぶりを報告している。突然の身体上の変化については速やかに電話等にて連絡しています。</p>	<p>施設で行うレクリエーション行事への参加の呼びかけを行い暮らし振りや様子を目にしたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。</p>	<p>年1回の家族会を開催しており、その場に於いても意見等を求め運営に反映している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>各フロア会議やマネージャ会議の場に於いて意見・提案を聞く場を設けている。</p>	<p>個々職員との個人面談のば作り意見・提案を聞く場を増やす必要がある。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>各フロア会議やマネージャ会議の場に於いて意見・提案を聞く場を設けている。</p>	<p>常に職員同士の連絡網を把握し緊急時の職員確保に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の能力・経験に応じて職場の配置に配慮しています。</p>	<p>スキルアップを目指した勉強会などの実施を行ないたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会への参加を段階的にしています。また、資格取得のための補助もしております。</p>	<p>常勤者だけではなく非常勤者職員へも研修会への参加が出来る様にしたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今後の課題としており、未だ実施していない。</p>	<p>懇親会等での意見の交流を図りたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>過酷な勤務状況にならない為の休日の確保に十分留意している。</p>	<p>出来る限り職員同士の親睦会を開催するように努めています。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>経験・能力・資格に応じて責任職へ配置している。</p>	<p>賃金の昇給、資格手当等で取りくんでいる。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご本人との面談をして情報を聴きとっている。</p>	<p>面談回数を増やし利用までの変化の状態を把握する必要がある。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居相談時からご家族との面談をして情報を聴きとっている。</p>	<p>日時問わずに相談できる体制をつくる。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図っており対応出来る様になっている。</p>	<p>相談できる専門機関の件数を増やしていきたい。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者様が愛用していた物があれば施設に持ち込んでもらい自宅と変わらない生活環境を作る工夫をしている。</p>	<p>初期の段階では自宅と施設を行き来しながら施設の環境・雰囲気に馴染んでもらう事で安心していただける支援を取り組みたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>個々の利用者様の知識や体験談に耳を傾け会話をしよう努めている。</p>	<p>個々の利用者様が今後取組んで行きたい事柄を聞き出し共に実行できるようにしたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族が訪問された際は、職員へ話しかけられるような雰囲気作りをし、家族様へは必ず職員から一声掛けるように努めている。		利用者・家族・職員の三者間で共に実行出来るものを試みたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	必ず利用者様の誕生日会を行い家族様へも参加の呼びかけをしている。		利用者様の喜んでいる時の写真や上手に出来た絵画や作品等を家族様に見ていただいている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が来られた際には、落ち着いた場所で会話ができるスペースを確保しています。		馴染みの場所への外出が出来ていないので今後取組んで行きたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食堂で座る場所を巡るトラブルを防ぐためテーブル・椅子に名札を貼る工夫をしている。		今以上に利用者同士で行える作業を増やして行きたい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	出会った時に挨拶を交わし利用者や家族の近況を尋ねたりをしている。		レクリエーションの参加への呼びかけを実施したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>直接本人と話し合いを持っている。困難な方については家族から話しを聞くようにしている。</p>	<p>自宅への一時帰宅への要望があり家族との相談の上、職員が常同一時帰宅していただいた。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族からの情報は勿論の事として過去のサービス表やサマリを活用して把握している。</p>	<p>家財道具・衣類を持ち込んでもらっている。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護記録書・バイタル表・食事報告書等を用いて把握している。</p>	<p>フロア会議においても利用者一人一人の状況の共有をしています。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議の場において話しあい作成している。</p>	<p>フロア会議の場において医療関係者が出席出来る様にした。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なフロア会議の場において話しあい作成している。</p>	<p>本人・家族の意見が薄いため今後見直したい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録書・バイタル表・食事報告書等を用いて把握している。		申し送りノートも活用しながら職員同士の情報共有に努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事前連絡があれば面会時間や外出等の規制は特別ではない限り無い。		一時帰宅や外出も既にされている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に地元消防署による非難訓練を利用者様と共にしています。		ボランティアの受け入れが少なかったので積極的に受け入れて行きたい。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や好みを表現できるように支援している。	○	決める力を意図的に引き出せるよう取組んでいきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	その人らしい生活が出来る様、出来るだけ自分のペースで過ごして頂いています。	○	日々の暮らしがその人らしいものになる様支援したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関係医療機関と既に提携している。		かかりつけ医は週に3回の訪問診察があります。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	関係医療機関と既に提携している。		定期的に訪問診察があります。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	関係医療機関と既に提携している。		提携している医療機関から週に一度看護師が訪問されています。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	関係医療機関と既に提携している。		利用者が入院した場合でも馴染みの職員が見舞いをし入院による不安を取り除く努力をしている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族等には契約時に施設側の考え方を説明し又、家族等からも意向等を聞いている。		本人の意思が確認出来ていないので確認して行きたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医とは綿密に連絡を取れる体制作りをしている。		職員の重度化・終末期に対する知識等のレベルを勉強会などで上げて行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	診療情報・サマリ等を提供しているで出来るだけ 混乱が生じないように心がけている。		関係者間でのミーティングを開催したい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	言葉掛けや対応については十分留意するように会 議等の場で話し合っている。		記録や個人情報書については保管・管理を充分に しており他が簡単に見られないようにしていま す。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	本人の意志を尊重し、話しには耳を傾けていま す。		ケアプラン会議にも本人が出席出来るようにした い。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	食事時間・入浴日も本人の希望や体調に副ってい ます。		ケアプラン会議にも本人が出席出来るようにした い。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている	行う前には必ず意向を伺っています。		家族等の協力も得ながら馴染みの理容・美容室に も出かければと考えます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>可能な方には簡単な調理・片付けをお願いしております。</p>	<p>利用者様と共にメニュー作りを行いたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>医師・家族と相談しながら利用者様の状態に合わせて可能な限り支援しています。可能な方とは喫茶店にも出かけています。</p>	<p>アルコールの提供は差し控えているので今後、医師・家族とも相談していき可能ならば提供したい。</p>
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>トイレ介助表等を利用し排泄時間を把握し声掛け等を行い随時トイレへ誘導するよう心掛けている。</p>	<p>夜間においては睡眠の妨げになると考えトイレ誘導を控えてオムツ対応に頼っている方もいるので工夫をしてオムツからトイレで排泄出来ないかを検討したい。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者様の意思や体調を優先して入浴日や時間を調整している。</p>	<p>施設風呂だけでは無く、銭湯へも行ければ楽しんでもらえるのではないかと考えます。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>テレビ・ラジオを視聴しながらだと眠れる方にはそのままの状態です。</p>	<p>導眠剤等の薬の使用は出来る限り使用しないようにしたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>能力・趣向に応じて音楽・塗り絵などで支援しています。</p>	<p>地域で開かれているサークル活動へも積極的に参加を試みたい。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物へ同行する際にはレジでの支払いは出来る限りご本人がされるようにしている。</p>		<p>紛失・利用者間での金銭トラブルがあるために常時金品の所持を差し控えているが所持できる工夫をして行きたい。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>体調や気候に合わせて買い物・散歩に出かけるようにしている。</p>		<p>外食・花見レク等でも外出する機会を確保しています。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族等の支援や体調等の問題もあるのでなかなか実施できていない。</p>		<p>家族等の支援などがあれば利用者様の思い出の地などへ外出したい。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>特に、電話があれば本人に取次ぐ事になっている。希望があればこちらから電話を掛ける事もある。</p>		<p>携帯電話の所持が可能ならば取組んで行きたい。</p>
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>落ち着いて談笑出来るスペースを確保している。</p>		<p>訪問者へお茶・お茶菓子を提供し長く居られるようにしている。</p>
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>		<p>外部の勉強会・研修会にも全ての職員が出席出来る様にしたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討しているが、ご家族様には説明しているが安全等を考慮して施錠している時間の方が多い。</p>	<p>人権等に配慮しつつ機械的な設備で対応できないかと考えます。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>常に日中は職員間で利用者様の様子・行動に意識を持つて対応しています。</p>	<p>ご家族には説明の上、夜間については1部モニターカメラで行動等を把握しています。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>利用者様の状態に合わせて対応しています。</p>	<p>どこにどのような危険があるか把握する事を重点を置く必要があります。</p>
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	<p>危機管理委員会の活動や消防訓練も実施している。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	<p>救急対応時のマニュアル表を見易い所に掲示してある。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	<p>消防訓練時に消防署からの災害時の対応等を勉強している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>医師も含めてご家族様にはその都度説明している。</p>	<p>○</p> <p>今後も状況変化に応じて対応を行う。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>体調変化表・連絡ノートも活用して情報の共有に努めている。緊急を要する場合は即座にかかりつけ医に連絡するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>毎朝バイタル測定を行い、確認する。異常がある時は速やかに管理者に報告している。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬している薬剤の説明書は職員全員が見易い場所にあり把握に努めている。</p>	<p>○</p> <p>薬の変更や中止などは必ず連絡ノートやドクター往診ノートに記入報告している。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>様々な資料などを用いて会議等の場に於いて勉強・検討している。</p>	<p>○</p> <p>利用者個々の状態に合わせた食材を摂り入れたい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後は必ず、お茶による嗽等で口腔ケアを実施している。義歯使用の方は就寝前には必ず一晩、義歯洗浄剤で洗浄していただいている。</p>	<p>○</p> <p>定期的な歯科医の往診にてデンタルケアにも注意しております。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事報告書・水分摂取表を利用して把握しており又、調理形態にも工夫している。</p>	<p>○</p> <p>食事摂取量や水分摂取量の記入、確認をしている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成しており徹底しています。	○	感染症予防に関する講習会への参加を行っている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒に関する資料等を配布し理解しており、調理品等の消毒・洗浄に徹底しています。又、残った食材については破棄し新鮮な食材の使用に努めている。	○	食材が残った時は必ず日付けを記入している。冷蔵庫内の整理、清浄を一週間に一度行っている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中は、玄関門を開放しており玄関先には鉢植えを置き玄関内には絵画や装飾品等で雰囲気配慮しています。	○	来庵者や本人、家族様等からの感想や意見を取り入れる。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの花・絵・写真等で落ち着かれるように工夫している。	○	居室やトイレ等の汚染が見られる為、掃除をこまめにする。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスの場にソファを置き空間の確保をしている。	○	本人のペースで過ごして頂ける様、職員が気付き、配慮する。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の家具や写真を持ち込んで頂き工夫している。	○	入居者様全員ではない為、家族の方に相談する。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	好天の日には窓を開け空気の換気に努めている。加湿器も利用している。	○	ガスでの調理の為、常に換気を行っている。温度調節については各部屋によって温度をかえ調節している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの対応をしており廊下には手摺も取り付けてある。	○	転倒リスクの高い方への見守り強化等。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	大きな字体で居室の場所・トイレの場所を明示して分かりやすくしている。	○	物品などについては出来るだけ名前を記入している。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	バルコニーに鉢植えを置き、観賞されたり・水差し等を協力していただいている。	○	駐車場や建物周りの掃除をしている。出来れば花を増やしたり、野菜菜園なども行いたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)